



## パピポ チャリティオープン PAPIPO CHARITY OPEN

### ローカルルール

- アウト・オブ・バウンズの境界は白杭、ウォーターハザードは赤杭、修理地は青杭または白線をもって標示する。黄色杭は適用されない障害物とする。
- 17番ホールを除き、コース内のウォーターハザードはラテラル・ウォーターハザードとする。17番ホールの池は救済措置の決められたウォーターハザード（ラテラルではない）である。競技者が17番ホールのティ位置から打たれた球の範囲が、「17番ホールの池」と定義する。
- 17番ホールのティショットがウォーターハザードに入った場合、ティグラウンドから打ち直しではなく、前進3打で特設ティからプレーする。
- 17番ホールのグリーン上・エッジ全域（島エリア内）から打った球がウォーターハザードに入った場合、ゴルフ規則 26-1a に則り、1打罰を加え、打った地点に戻って、グリーン上であればプレイス、エッジであればドロップしてプレーすること。ただしドロップすると明らかに球が池に落ちる状況であれば、プレイスも可とする。
- 17番ホールの渡り橋は、ウォーターハザードとする。橋上に球がある場合、ウォーターハザードの処置をすること。
- コース内の植込み、ヤーデージ表示木は樹木扱いとする。
- 樹木を保護する巻物施設は樹木の一部とみなす。ただし、球が巻物施設にはさまった場合は、罰なしに球を取り戻し（取り戻せない時は別の球で）、球が止まっていた直下地点から1クラブレンジス以内で、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。取り戻した球は拭くことができる。
- コース内の人工の構築物は、動かすことのできない障害物とする。
- バンカー内の石は動かせる障害物とする。
- グリーン上（カラーを含む）のプレーはパター以外のクラブ使用を禁止する。
- ローカルルールの変更追加は、クラブハウス内および受付に掲示し、当日効力を発生する。
- その他はJGAゴルフルールを適用する。



## パピポ チャリティオープン PAPIPO CHARITY OPEN

### 注意事項

- スコアカードに記載のローカルルールは適用されません。別途書面に書かれた「ローカルルール」が、本競技会のローカルルールとなります。
- セルフプレーとなりますので、プレー進行と前組への打ちこみによるトラブル・事故等が起きないように、ご留意お願いいたします。
- ヤーデージ表示はグリーンセンターまでとなります。ピン位置は全員に配布致します。
- ティーオフ順は組み合わせ表の左から順にお願い致します。
- プレーはハーフ2時間15分以内でお願いいたします。
- ハーフプレー後、食事が入ります。スループレーではありません。
- カートは、普通免許所持者が運転するよう、お願い致します。
- 前進4打は使用しません。また隣接ホールに球が飛んだ場合の1ペナルティ救済はありません。あるがままの状態でのプレーとなります。OB・紛失球の危険性があるときは、ゴルフ規則 27-2 に則り、暫定球をプレーして下さい。
- 動かさない障害物に球がある状況からの救済、ウォーターハザードに入った場合の救済等、救済措置は、ニヤレストポイントとドロップ範囲境界の2箇所には必ずマークをして救済措置を行って下さい。
- 競技者が1ホールのプレー中に自分の権利やとるべき正しい処置について自信がない場合、ゴルフ規則 3-3 に則り、競技者は罰なしに2つの球をプレーしてそのホールを終えることができます。プレー終了後、その状況を競技委員にすみやかに報告・裁定を仰いで下さい。
- 荒天・雷発生でプレー中断とするとき、サンレンを鳴らします。待機場所に待機し、競技委員からの指示をお待ち下さい。
- 17番ホールの前進3打特設ティ位置は、グリーンから池越えとなる位置に設置されています。渡り橋から特設ティへは行けませんのでご注意ください。
- 2番ホール、9番ホールのバックティは共有されていて、ティーマーク同士が近い位置にあります。先にティグラウンドに上がった組を優先して進行するようお願い致します。
- アテストは、1名記入式のパピポオープン専用のスコアカードで行います。受付時にカードを渡します。スタート前に競技委員立ち会いで同伴競技者と交換、プレー中スコアカードには同伴者のスコアを記入し、アテストで再交換、となります。不明な場合、スタート時またはアテスト時に係までお尋ね下さい。